



日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 1323 2015年9月6日発行

日本共産党平塚市議会議員団

団長 高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

渡辺敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@agate.plala.or.jp

松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党議員団の法律相談
今回は9月17日(木)です。

午後4時～6時(要予約)

平塚市議会9月定例会 質問項目提出

渡辺敏光議員の質問 9月7日 一番目

発言の主題とその要旨

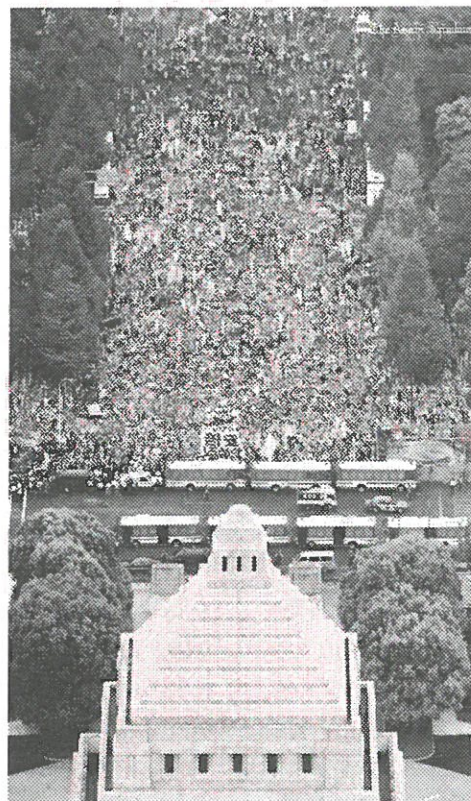
- 1 認第1号決算の認定について
 - (1) 決算からみる平塚市の財政状況
 - (2) 結果と成果—市民にとってどうであったか
 - (3) 公債費と市民への影響
- 2 (仮称)次期平塚市総合計画と地方版総合戦略
 - (1) 地方創生基本方針が自治体に具体的に求めるもの
 - (2) 地方版総合戦略策定の基本的考え方
- 3 災害時における応急復旧等の協力に関する協定
 - (1) この協定の内容
 - (2) 期待される効果
 - (3) 他の災害協定の特徴

松本敏子議員の質問 9月8日 二番目

発言の主題とその要旨

- 1 緑地の保全及び緑化の推進について
- 2 「子育てするなら平塚で」にふさわしい施策

議員の質問は4日(金)10時からと7日(月)～9日(水)のそれぞれ10時から行われます。
9月議会では16人の議員が質問します。
市役所8階の議場での傍聴、インターネット中継、当日の夕方湘南ケーブルネットワークでの録画放送もあります。どうぞご覧ください。



朝日新聞社撮影の写真

今、黙っていたらまた70年前の苦しみを味わうことになる。

戦争法案を廃案にするため、今が頑張り時です。

金曜日の夕方5時から6時、平塚駅北口ラスカ前で一緒にプラカードを持って立ちませんか!

8月30日は、渡辺議員、松本議員も参加しました。

戦争法案廃案迫る!

8月30日 12万人怒りの国会包囲 全国でも1000か所超で抗議

8月30日午後2時、国会正門前は戦争法案に反対する参加者であふれました。

平塚でも駅ラスカ前に市民が次々と「戦争させない」のプラカードや「アベ政治を許さない」の紙を掲げ抗議し、その後国会前へと向かった人も多くいました。

共産党市議団は毎週金曜日の夕方、平塚駅前「戦争法案は廃案に!」と訴え行動しています。戦後70年という節目の年に、とんでもない法案を出してきた安倍政権。私たちは「戦争する日本」を、これからの若者たちに受け渡すわけにはいきません。これからは戦争を知らない世代の時代になります。「平和」を守るために声をあげましょう。



みなさんも一緒に「戦争法案 廃案」の声を!

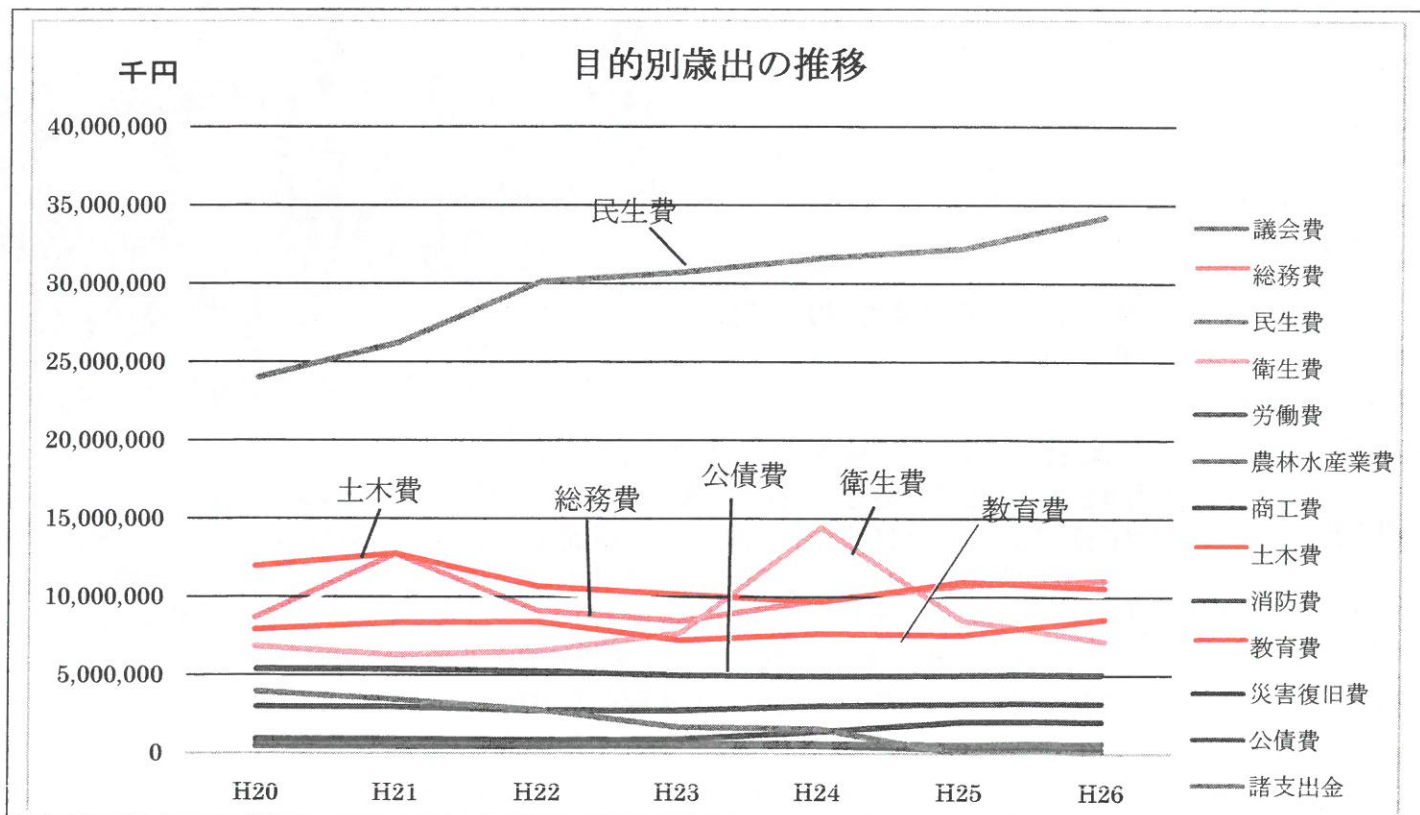
- 9月4日(金)夕方5時から6時 平塚駅北口ラスカ前にて 共産党市議団 他
- 9月5日(土)夕方4時半から5時半 場所同上「アベ政治を許さない スタンディング行動 part2」 秘密保護法廃止をめざす平塚市民の会 その他賛同団体
- 9月6日(日)午後3時から「みんなで止めよう! 安保法案」かながわ緊急大集会
場所:横浜反町公園 横浜弁護士会主催
- 9月9日(水)夕方5時から6時 平塚駅ラスカ前
平和憲法を守ろう! ひらつか・9条の会主催

2014年度（H26）の決算から

決算の調べ(平塚市普通会計)

目的別歳出(決算額) 単位:千円

年	2008 H20	2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26
議会費	439,472	429,099	418,937	542,588	532,480	504,936	597,883
総務費	8,278,747	12,353,963	8,726,920	8,076,053	9,402,589	10,343,693	10,640,630
民生費	24,016,419	26,243,542	30,135,739	30,712,774	31,636,612	32,239,452	34,236,097
衛生費	6,438,755	5,888,653	6,137,345	7,291,078	14,030,459	8,099,887	6,755,260
労働費	505,286	495,208	492,499	493,163	493,663	252,228	270,380
農林水産業費	804,722	791,200	658,597	646,406	633,975	549,530	651,982
商工費	915,106	915,986	852,396	923,509	1,384,156	2,027,875	2,063,172
土木費	11,570,371	12,365,609	10,282,410	9,760,742	9,298,934	10,552,073	10,148,156
消防費	2,972,329	2,983,276	2,737,556	2,764,649	3,031,610	3,163,001	3,215,614
教育費	7,517,580	7,946,658	8,009,354	6,857,419	7,267,441	7,164,877	8,151,050
災害復旧費	27,375						44,890
公債費	5,376,388	5,383,983	5,239,958	5,006,588	4,939,207	5,003,390	5,064,339
諸支出金	3,959,449	3,454,089	2,801,852	1,696,000	1,590,000	530	425
歳出総計	72,821,999	79,251,267	76,493,563	74,770,969	84,241,126	79,901,472	81,839,878



平塚市小児の医療費助成 中学校卒業まで引き上げ！

8月、担当課から「平塚市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例(案)」についての説明が各会派にありました。

改正の内容は、通院対象年齢を小学校6年生から中学校卒業まで引き上げるために、条例を改正するというものです。

改正の理由として、今子供を安心して産み育てることのできる環境の実現のため、この事業の一層の充実が求められている。厳しい財政状況と継続性を考慮して、今まで同様に所得制限を付けて対象年齢を中学校卒業まで引き上げるとしています。

施行年月日は、9月議会に提出し、来年4月1日からの施行を予定。



共産党議員団は、小児医療費助成を中学校卒業するまで拡充するよう求め続けてきました。この度、平塚市が通院費助成対象を中学校卒業までとしたことは、本当によかったと喜んでいきます。

しかし、まだ所得制限があるために、「誰もが」ではありません。わずかな差で通院も入院も実費になる所得制限をなくすため、さらに要望していきます。

9月議会には前年度決算の認定も議題になっています。昨年度、市はどのように税金を使ってきたのかを審査するものです。

左の表は、目的別歳出の7年間の推移を数字とグラフで表してみました。

総務費 人事、企画、財政、徴税、戸籍、統計などに要する経費です。

民生費 障害福祉、児童福祉、高齢福祉、生活保護、保険年金などの事業。国民健康保険や後期高齢者医療や介護保険への支出も含まれます。

衛生費 保健衛生、母子保健、環境・廃棄物処理、公害対策などの事業に要する経費です。市民病院への負担金も含まれます。

土木費 道路、河川や公園、下水道事業への支出、緑の保全、霊園、市営住宅などの事業に要する経費です。

公債費 市債(市の借金)を返済する元金や利子、また一時的な借入れをした場合の支払利息等の額です。